



学校案内2026  
日本大学歯学部

# 附属歯科 衛生専門学校

Dental Hygiene School

女子・昼間3年制



# 附属歯科 技工専門学校

Dental Technician School

男女共学・夜間3年制

# 附属歯科技工専門学校

男女共学・夜間3年制

Dental Technician School

## 歯科医師のよきパートナーとなる スペシャリストを育成

本校は、歯学部附属の教育機関という特徴を活かし、歯科技工士の資格を得るために必要な高度専門知識と技術を習得できます。技術・技能教育の一環として歯学部附属歯科病院と連携し、臨床的技工を製作し、臨床に直結した実習を実施しています。卒業時には称号(専門士)の付与のみならず、国家公務員の受験資格も与えられます。多くの可能性を秘めた本校で勉強し、国民の健康に貢献できる歯科医師の大切なパートナーとなることを期待しております。

## 本校の特徴

### 学校制度について

歯科技工専門学校は、夜間3年制の学校です。御茶ノ水という好立地にあり18:00から授業が行われるので、登校までの時間を趣味や仕事に活用しながら学ぶことができます。

### 授業内容について

本校での講義と実習は、日本大学歯学部教授陣と経験豊富な専任教員が一体となって行っております。日本大学歯学部附属歯科病院と連携し、臨床的技工も製作するため、卒業後にすぐに現場で実力が発揮できます。さらに、CAD/CAM、スポーツ歯科や顎顔面補綴等の修学も行っています。

### 学費について

医療系の専門学校ですが他業種の専門学校と同等程度の学費です。学費は近隣の歯科技工士学校の2/3~1/2程度のため経済的にも無理なく国家試験の取得を目指せます。

## 附属歯科技工専門学校

## 理念

医療人としての主体性を認識し、歯科技工の国際化に対応できる世界的視野で物事を捉え、本校で学んだ高度な技術を生かすため「自主創造」の精神を醸成し、尊重する。

## 目標

- 歯科技工士としての専門知識や技術を備え、広い視野を持ち人間性豊かな教養を身につける。
- 生命を尊重する心と高い倫理観を養う。
- 歯科医療と歯科技工の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備える。

## 教育目標達成のための3つの教育ポリシー

### アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

本校は、以下に該当する入学者を受け入れる。

1. 歯科技工士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者。
2. 本校で学んで行くうえで必要な基礎知識と技能を有し、卒業後も生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者。

### カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

1. 本校は、歯科技工士資格の取得を目指す社会人等を対象とし、夜間課程を設置している。
2. 本校の専門課程は、歯科技工士養成所指定規則および歯科技工士養成所教授要綱に基づき、歯科技工士としての知識と技術を確実に修得できることを前提とした教育課程を編成している。

### ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本校は、所定の単位数(時間数)を修得し、以下に該当する者に専門士(医療専門課程)の学位を授与する。

1. 本校の理念に基づく歯科技工の専門知識と技術を備えている。
2. 幅広い教養と人間性豊かな歯科技工士としての資質を備えている。
3. 生命を尊重する心と高い倫理観を有している。
4. 歯科医療と歯科技工の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備えている。
5. 歯科技工業務等を通して、歯科診療施設受診者の健康保持増進に貢献できる。

## 3年間の流れ

### 1年次

口腔及び、歯科材料や機械器具などについて学び、歯科技工士としての基礎知識を身につける。

カリキュラム

- 歯科理工学
- 口腔顎顔面解剖学
- 有床義歯技工学 など

### 2年次

実習主体の授業になり、より専門的な知識や実践的な技術を身につけ、応用力を養っていく。

カリキュラム

- 歯冠修復技工学
- 歯科技工管理学
- 矯正歯科技工学 など

### 3年次

習得した理論・技術を基本とし、歯科技工士としての更なる技術アップを図り、国家試験合格を目指す。

カリキュラム

- 歯科技工学演習
- 歯科技工学実習 など



附属歯科技工専門学校  
小泉 寛恭 校長

## お口の健康，全身の健康

お口の健康と全身の健康を守る仕事が歯科医療です。歯科医療に携わる職種として、歯科医師、歯科衛生士そして歯科技工士があります。この3職種が一つのチームとなって、患者さんの歯科治療を行います。

歯科技工士は、歯科医師の指示のもと、お口に入れる装置を製作します。その装置にはいろいろな種類があり、入れ歯や被せ物あるいはマウスピースなどになります。患者さんが使用する装置は、すべてひとりひとりに合わせて作製するオーダーメイドとなりますので、責任重大です。

例を挙げると歯を失った患者さんは、歯科技工士が作製した入れ歯などの装置を使って、食べ物をかんだり、飲み込んだり、発音したり、美しさといった機能を回復することができるわけです。食べることは、栄養を身体に取り込むということですから、全身の健康にとっても関係しています。このように歯科技工士は、患者さんのお口の健康のみならず全身の健康を支える仕事をする職業といえます。

## 日本大学歯学部 科目等履修生制度

日本大学歯学部には、口腔保健学を主たる専攻分野とする「科目等履修生」の制度があります。歯学部の学科目を履修することにより、学士として必要な単位を取得できます。所定の単位を取得後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請を行い、審査に合格すると、以下の学士号が授与され、大学を卒業した人と同等の学位を取得できます。また、学士号を取得することで、卒業後の就職先の範囲が広がる可能性が高まります。

学士(口腔保健学)口腔保健技工学専攻 歯科技工士養成課程卒業生等が対象



先生 voice  
今井 先生

本校では、歯学部の教授陣をはじめ、本校OBで臨床経験豊富な非常勤講師を加え、教育にあたっています。伝統校で国家資格を取得して、歯科のチーム医療の一員として、国民の健康に貢献しませんか？

## 1日の流れ



18:00 ~ 18:50

### 授業(座学)

歯学部の歯科医師と専任教員が講義を担当し、より専門的な知識が学べます。



19:00 ~ 21:15

### 授業(実習)

実習室に移動して実習スタート。現役の歯科技工士の先生が直接お手本を見せてくださり、とても勉強になります。



21:15 ~

### 下校, 夕食, 就寝

利便性の良い場所にあるので、安心して帰宅できます。



在校生 voice

## 患者さんの笑顔を支える 歯科技工士を目指して

附属歯科技工専門学校2年  
郁 拓真 さん

歯科技工士を目指したきっかけは、高校の学校相談会で仕事内容を知り、ものづくりを仕事にできることや、患者さんの笑顔を取り戻せる点に魅力を感じたことです。本校を選んだ理由は、歯学部附属で現役の歯科医師から指導を受けられることや、夜間制で昼間の時間を有効に使えることです。さらに文化祭や球技大会などのイベントも充実し、楽しい学生生活を送れています。入学当初は友人関係に不安がありましたが、授業を通じて打ち解け、特に球技大会をきっかけに友達や先輩と仲良くなれました。授業は難しい部分もありますが、先生方の丁寧な指導のおかげで安心して学んでいます。充実した環境の中で、歯科技工士としてのスキルをしっかり身につけられると実感しています。



在校生 voice

## 働きながら学ぶ環境で 実践的なスキルを磨く

附属歯科技工専門学校2年  
小久保 未来 さん

職場で歯科技工士という仕事を知り、ものづくりを活かせる点に魅力を感じ目指しました。働きながら学べる環境やアクセスの良さが決め手となり本校に入学しました。本校は歯学部附属のため、歯科医師の先生から臨床経験を交えた講義を受けられることが大きな強みです。技工士としての知識だけでなく、歯科医師の視点や現場での実践的な考え方を学べるため、将来の仕事に直結する学びが得られます。歯科の知識は膨大ですが、先生方が丁寧に指導し、わからないことはすぐ相談できる環境が整っています。学年を超えた交流も活発で、仲間と支え合いながら技術を磨けることも魅力です。卒業後は技工技術を高め、患者さんを第一に考えられる歯科技工士を目指したいです。



卒業生 voice

## 卒業後も続く学びと 仲間のつながりが支えに

2024年度卒業  
平井 志奈 さん

就職を見据え資格取得を考えていた際に歯科技工士という職業を知り、もともと手を動かしてものを作ることが好きだったことから目指すようになりました。本校の強みは、在学中はもちろん卒業後も希望すれば技工の練習ができ、先生から指導を受けられる点です。卒業後も実践的な技術を磨ける環境があることは、大変心強くと感じています。クラスは年齢層が幅広く、現役の学生だけでなく年上の方も多かったため、さまざまな価値観に触れながら学ぶことができました。卒業後も同級生と交流が続いており、仕事や働き方について相談できる仲間がいることが大きな支えになっています。異なる世代の人と共に学ぶ経験は、社会に出た今でも役立っていると感じています。

## 入試日程

■ 一般選抜						
第1期	出願期間	令和7年11月 5日(水) ~ 令和7年11月18日(火)	第2期	出願期間	令和8年2月12日(木) ~ 令和8年2月26日(木)	
	試験日	令和7年11月29日(土)		試験日	令和8年3月 7日(土)	
	合格発表	令和7年12月5日(金) 13時		合格発表	令和8年3月13日(金) 13時	
募集人数		一般選抜, 総合型選抜合わせて15名	試験内容	作文, 面接	入学検定料	20,000円
出願資格		① 高等学校又は、中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和8年3月修了見込みの者 ③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 文部科学大臣の指定した者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定試験に合格した者を含む)で、令和8年3月31日までに18歳に達する者 ④ 外国人留学生を除く				

■ 学校推薦型選抜(付属高等学校等)		■ 社会人選抜・自己推薦選抜			
第1期	出願期間	令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金)	第1期	出願期間	令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金)
	試験日	令和7年10月25日(土)		試験日	令和7年10月25日(土)
	合格発表	令和7年10月31日(金) 13時		合格発表	令和7年10月31日(金) 13時
第2期	募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等, 指定校制, 公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名	第2期	出願期間	令和8年 1月13日(火) ~ 令和8年 1月27日(火)
	試験内容	面接		試験日	令和8年 2月 7日(土)
	入学検定料	20,000円		合格発表	令和8年 2月13日(金) 13時
第3期	出願資格	① 付属高等学校等を令和8年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者	第3期	出願期間	令和8年 2月12日(木) ~ 令和8年 2月26日(木)
	試験内容	面接		試験日	令和8年 3月 7日(土)
	合格発表	令和8年 3月13日(金) 13時		合格発表	令和8年 3月13日(金) 13時
募集人数		学校推薦型選抜(付属高等学校等, 指定校制, 公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名			
試験内容		面接			
入学検定料		20,000円			
出願資格		① 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ② 令和8年4月1日現在満19歳以上の者 ※本校で社会人とは、次のいずれかに該当し、社会で活動、生活している人。 必ずしも職業従事の有無は問いません。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定試験に合格した者を含む) (5) 大学・短期大学に在籍、又は卒業した者 (6) 外国人留学生を除く			

■ 学校推薦型選抜(指定校制)	
出願期間	令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金)
試験日	令和7年10月25日(土)
合格発表	令和7年10月31日(金) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等, 指定校制, 公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 本校が指定した高等学校等を令和8年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者

■ 学校推薦型選抜(公募制)	
出願期間	令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金)
試験日	令和7年10月25日(土)
合格発表	令和7年10月31日(金) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等, 指定校制, 公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は、中等教育学校を令和7年3月卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者 ④ 外国人留学生を除く

■ 総合型選抜			
エントリー	エントリーシートを進学相談会, 学校見学にて配布		
エントリー受付期間	第1期: 令和7年 6月16日(月) ~ 8月 4日(月)	アドミッション・ポリシーによる選考日程 (体験実習・体験授業)	15時00分 ~ 17時00分
	第2期: 令和7年11月 4日(火) ~ 12月 4日(木)		
願書受付	エントリーシート確認後, 選考日程の通知 第1期: 令和7年 9月 1日(月) ~ 9月12日(金) 第2期: 令和8年 1月13日(火) ~ 1月27日(火)	合格判定会議 (書類選考)	第1期: 令和7年9月24日(水) 11時 ~ (予定) 第2期: 令和8年2月 7日(土)
合格通知	第1期: 令和7年10月1日(水) (郵送) 第2期: 令和8年2月13日(金) (郵送)		
募集人数	一般選抜, 総合型選抜合わせて15名	入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込みの者 ② 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者(高等学校卒業程度認定試験の合格者)及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者 ④ 外国人留学生を除く		
アドミッション・ポリシー	① 歯科技工士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者		
出願要件	② 本学で学んで行く上で必要な基礎知識と技能を有し、卒業後も生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者		
	③ 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者		

# 附属歯科衛生専門学校

女子・昼間3年制

Dental Hygiene School

## 歯科医師のよきパートナーとなるハイジニストを育成

歯科衛生士の業務には歯科予防処置、歯科保健指導及び歯科診療補助の3つがあり、歯科医療と歯科保健の分野で重要な役割を担っています。歯科医療の多様化、高度化が進むなかで歯科衛生士は歯科技工士とともに、歯科医療の現場になくてはならない大切なコ・デンタルスタッフです。

## 本校の特長

### 学校制度について

歯科衛生専門学校は、3年制の学校です。校外での臨地実習は、小学校、幼稚園、心身障害者口腔保健センター及び特別養護老人ホームなどで行っています。

### 授業内容について

歯科衛生士法に定められた教育内容を基に組まれています。2年次の後期からは臨床実習が中心となります。臨床実習は、歯学部附属歯科病院で約1年間、グループ別に各診療科、病棟などで行われます。

### 歯科衛生士国家試験合格率について

歯科衛生士国家試験の2023年度実績は100%を誇ります。



# 附属歯科衛生専門学校

## 理念

医療人としての主体性を認識し、歯科衛生の国際化に対応できる世界的視野で物事を捉え、本校で学んだ高度な技術を生かすため「自主創造」の精神を醸成し、尊重する。

## 目標

- 歯科衛生士としての専門知識や技術を備え、臨床実習、保健指導を通して、患者や社会が求める人間性豊かな教養を身につける。
- 生命を尊重する心と高い倫理観を養う。
- 歯科医療と歯科衛生の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備える。



## 教育目標達成のための3つの教育ポリシー

### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本校は、以下に該当する入学者を受け入れる。

1. 歯科衛生士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者。
2. 本校で学んで行くうえで必要な基礎知識と技能を有し、生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者。



### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 本校は、歯科衛生士資格の取得を目指す学生・社会人等を対象としている。
2. 本校の専門課程は、歯科衛生士養成所指定規則および歯科衛生士養成所指導要領に基づき、歯科衛生士としての知識と技術を確実に修得できることを前提とした教育課程を編成している。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本校は、所定の単位数を修得し、以下に該当する者に専門士（医療専門課程）の学位を授与する。

1. 本校の理念に基づく歯科衛生士の専門知識と技術を備えている。
2. 幅広い教養と人間性豊かな歯科衛生士としての資質を備えている。
3. 生命を尊重する心と高い倫理観を有している。
4. 歯科医療の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備えている。

## 3年間の流れ

### 1年次

人体や歯・口腔の機能と構造について学び、歯科衛生士としての基礎知識を身につける。

#### カリキュラム

- 解剖学
- 生理学・口腔生理学
- 歯科衛生学総論
- 医療情報リテラシー など

### 2年次

臨床科目主体の授業となり、より専門的な知識を学ぶ。また、臨床実習を経てより実践的な技術を身につける。

#### カリキュラム

- 口腔外科学
- 歯科保健予防技術論
- 歯科補助技術論
- 臨床実習 など

### 3年次

臨床実習や学外実習で、応用力や実践力を高め国家試験合格を目指す。

#### カリキュラム

- 臨床実習
- 地域保健実習
- 特別研究
- 総合口腔保健学演習 など

（令和7年度現在）

## 最先端の環境で、幅広く活躍できる歯科衛生士を目指す

歯科衛生士は国民の歯・口腔の健康を守る職業です。近年、口腔内の健康が全身の健康、さらに寿命にまで影響していることがわかり、歯科衛生士は口腔内だけでなく全身疾患の予防になくてはならない存在となっています。さらに、幼児から高齢者までの歯科保健指導にあたり、要介護者の訪問口腔ケアなど、幅広い活躍が求められています。歯科衛生士は国家資格を取得します。人生には結婚、出産、育児、介護など様々なライフイベントがありますが、これらライフイベントを機に仕事を辞めたり、社会復帰が難しくなるケースが多い中、歯科衛生士は仕事との両立や社会復帰がしやすい職業の一つといえるでしょう。

本校は昭和33年に創設された長い歴史をもち、例年15倍以上の求人数を誇っています。また、2018年に新病院がスタートした日本大学歯学部の附属校であるため、先進的医療機器を用いた最先端の環境で学ぶことができます。教員も本校専任教員だけでなく、日本大学歯学部の大学教員で構成されており、様々な分野の専門知識や技術を学ぶことができます。是非、これら恵まれた環境で学ぶことができる日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校で、歯科衛生士を目指す同じ目標を持った仲間と一緒に、毎日楽しく学んでいただきたいです。



附属歯科衛生専門学校  
岡田 明子 校長

1日の流れ



**8:00 ~ 9:00**  
**登校**  
 友だちと楽しくおしゃべりしながら登校しています。



**9:00 ~ 11:50**  
**授業(座学)**  
 歯学部先生が教えてください。



**11:50 ~ 13:00**  
**昼休み**  
 教室でお弁当を食べる時もあるが、外でランチをすることも。御茶ノ水にはおいしいランチを食べられる場所が沢山あります。



**13:00 ~ 15:50**  
**授業(実習)**  
 実習室に移動して実習スタート。先生が直接お手本を見せてくださり、とても勉強になります。



**15:50 ~**  
**放課後(部活動・アルバイト)**  
 放課後は友達とおしゃべりした後、部活動へ参加します。部活動のない日はアルバイトをしています。

先生 voice



**矢野 先生**  
 担任制をとっており、通常3年間同じ先生が担任を受け持ちます。先生が身近な存在であるため、いつでも気軽に相談できます。歯科衛生士として、そして女性として、大きく成長する3年間を私達と一緒に過ごしませんか？

在校生 voice



附属校ならではの魅力がたくさん

附属歯科衛生専門学校3年  
**鈴木 桜 さん**

母親が本校卒業の歯科衛生士だったので、幼い頃から歯科の存在が身近にありました。小学生の頃に矯正を始め、そこでお世話になった歯科衛生士の方々の優しさに憧れを抱き、高校生になって本格的に歯科衛生士を目指すようになりました。本校は臨床実習先が附属の大学院で行われるため、最新の医療機器を備えた充実した環境で学ぶことができます。これは他校ではなかなか得られない特別な学びの機会だと思います。さらに本校の就職率の高さや多彩な就職先は、附属校ならではの強みだと感じています。また勉学以外にもたくさんの魅力があり、歯学部と合同で行う自動車部の活動や、そこで行われる歯学部生との交流は勉強の息抜きにもなっています。学校の立地も良く、歴史ある学生街には様々なお店が立ち並び、毎日通いたくなるような素敵な街並みが広がっています。快適で充実した日々を過ごせる学校生活です。

卒業後は、子供たちに歯の大切さを伝えられる歯科衛生士になりたいです。歯磨きや食生活改善などの指導を始め、歯ブラシ1本から自分の健康を守るということ伝えて、子供たちが健康な口腔内を保てるようにお手伝いしていきたいと考えています。

**受験生へメッセージ**  
 勉強についていけるのか、難しそう、大変そうといった不安を感じる方もいるかと思いますが、本校の先生方は、わかりやすく丁寧に教えてください。でも心配することはありません。将来、同じ道に進む仲間とともに学ぶことのできる、大変恵まれた環境だと感じています。ぜひ本校と一緒に学びましょう!

卒業生 voice



厳しい指導を乗り越え今がある

2009年度卒業  
**本田 麻璃子 さん**

高校1年生の進路相談の頃歯医者に通っており、歯科衛生士の仕事に興味を持ったことが最初のきっかけです。歯科衛生士は国家資格で専門性を身につけることができ、就職に困らないことに魅力を感じました。また本校は日本大学の附属であること、埼玉の自宅から通えることが学校選びのポイントでした。

先生方は私たちが社会に出て困ることがないよう、実習での指導はとても厳しく大変なこともありましたが、クラスの人と協力しあって放課後も実習の練習をしたり、先生方も忙しい中私たちの指導に付き合ってくれるなど、恵まれた環境で勉強と実習に集中した3年間を過ごすことができました。

現在は日本大学附属歯科病院で歯科衛生士として働いて10年になります。大学病院は町の歯科医院よりも専門性が高く、スポーツ歯科など専門性に特化した科に配属されることがあるため、今後はより多くの専門性認定の取得を目指します。また地域医療についての啓蒙活動も進めていきたいです。

この学校は厳しいこともたくさんありますが、病院も新しくなり実習しやすい恵まれた環境です。先生方を信頼して仲間と充実した学生生活を過ごしてください。

入試日程

■ 一般選抜	
第1期	出願期間 令和7年11月 5日(水) ~ 令和7年11月18日(火) 試験日 令和7年11月29日(土) 合格発表 令和7年12月5日(金) 13時
第2期	出願期間 令和8年2月12日(木) ~ 令和8年2月26日(木) 試験日 令和8年3月 7日(土) 合格発表 令和8年3月13日(金) 13時
募集人数	一般選抜、総合型選抜合わせて20名
試験内容	総合基礎学力試験、面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は、中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和8年3月修了見込みの者 ③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 文部科学大臣の指定した者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定試験に合格した者を含む)で、令和8年3月31日までに18歳に達する者

■ 学校推薦型選抜(付属高等学校等)	
出願期間	令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金)
試験日	令和7年10月25日(土)
合格発表	令和7年10月31日(金) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 付属高等学校等を令和8年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者

■ 学校推薦型選抜(指定校制)	
出願期間	令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金)
試験日	令和7年10月25日(土)
合格発表	令和7年10月31日(金) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 本校が指定した高等学校等を令和8年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者

■ 学校推薦型選抜(公募制)	
出願期間	令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金)
試験日	令和7年10月25日(土)
合格発表	令和7年10月31日(金) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は、中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者 ④ 外国人留学生を除く

■ 社会人選抜・自己推薦選抜	
第1期	出願期間 令和7年10月 1日(水) ~ 令和7年10月17日(金) 試験日 令和7年10月25日(土) 合格発表 令和7年10月31日(金) 13時
第2期	出願期間 令和8年 2月12日(木) ~ 令和8年 2月26日(木) 試験日 令和8年 3月 7日(土) 合格発表 令和8年 3月13日(金) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制) 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ② 令和8年4月1日現在満19歳以上の者 ※ 本校で社会人とは、次のいずれかに該当し、社会で活動、生活している人。 必ずしも職業従事の有無は問いません。 (1) 高等学校又は、中等教育学校を卒業した者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定試験に合格した者を含む) (5) 大学・短期大学に在籍、又は卒業した者 (6) 外国人留学生を除く

■ 総合型選抜			
エントリー	エントリーシートを進学相談会、学校見学にて配布		
エントリー受付期間	第1期:令和7年 7月1日(火) ~ 令和7年7月22日(火)	アドミッション・ポリシーによる選考日程 (体験実習・面接)	第1期:令和7年8月 5日(火)
	第2期:令和7年12月8日(月) ~ 令和8年1月16日(金)		第2期:令和8年1月24日(土)
願書受付	エントリーシート確認後、選考日程の通知		(選考において適性が認められた者に出席許可書を発送)
	第1期:令和7年 9月 1日(月) ~ 9月12日(金)	合格判定会議 (書類選考)	第1期:令和7年9月24日(水) 11時 ~ (予定)
合格通知	第2期:令和8年 2月12日(木) ~ 2月26日(木)		第2期:令和8年3月 7日(土) 11時 ~ (予定)
	第1期:令和7年10月1日(水) (郵送)	第2期:令和8年3月13日(金) (郵送)	
募集人数	一般選抜、総合型選抜合わせて20名	入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込みの者 ② 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者(高等学校卒業程度認定試験の合格者)及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者 ④ 外国人留学生を除く		
アドミッション・ポリシー	① 歯科衛生士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者 ② 本学で学んで行く上で必要な基礎知識と技能を有し、卒業後も生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者		
出願要件	本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者		

## 卒業生の就職状況

本校の卒業生は全国の歯科医療機関から<sup>しよくほ</sup>嚮望され、歯科医院（診療所を含む）・歯科技工所はもとより官公庁医療機関、私立歯科大学病院、大手企業の診療室、歯科関連企業などに就職しており、毎年100%の就職率を誇っています。また、現在では日本人の勤め先及び手先の器用さが買われて、海外で活躍している歯科技工士も多くなっています。

**就職率 100%**  
**求人倍率 約10倍**

### 就職者の分布



### 学費について

#### 学費等(令和7年度)

区分	1年次		2年次・3年次(各年次ごと)	
	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	300,000円	—	—	—
授業料	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
実習料	75,000円	75,000円	75,000円	75,000円
合計	625,000円	325,000円	325,000円	325,000円
年額	950,000円		650,000円	

#### その他費用(令和6年度参考)

区分	1年次	2年次	3年次
教科書	約40,000円	約11,500円	—
実習器材	約93,000円	約43,000円	約21,000円
B型肝炎ワクチン接種	約21,000円(希望者のみ)	—	—
合計	約133,000円	約54,500円	約21,000円

### 奨学金

#### 日本大学歯学部佐藤奨学金(給付)

種別	年額	人数	対象
第1種奨学金	100,000円	2名	2・3年次

(人数は令和6年度の実績)

#### 日本学生支援機構奨学金

種別	月額	人数	対象
第一種奨学金(無利息)	自宅通学者 53,000円	2名	1~3年次
	自宅外通学者 60,000円		
第二種奨学金(有利息)	20,000円~120,000円から選択	2名	

※年3%を上限とする変動金利(金額、人数は令和6年度のもの)

※日本大学歯学部附属歯科技工専門学校は、高等教育の修学支援新制度の対象校ではありません。(令和7年度)

## 卒業生の就職状況

就職は進路が歯科衛生士に決定しているため、就職先の相談が主に行われています。第3学年次には就職ガイダンスが実施され、実施前にアンケート調査を行い、希望する内容の説明ならびに卒業生を招聘し、体験談を聞くガイダンスが行われています。就職先選択のため求人票を分類し、事務室で保管・管理し、学生の希望により随時閲覧ができます。2023年度は296件の求人募集がありました。就職先は主に歯科医院で占めておりますが、大学付属の歯科病院や歯科関連企業及び保健所など多方面にわたっています。

**就職率 100%**  
**求人倍率 約11倍**

### 就職者の分布



### 学費について

#### 学費等(令和7年度)

区分	1年次		2年次・3年次(各年次ごと)	
	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	250,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
実習料	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
施設設備資金	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
合計	650,000円	400,000円	400,000円	400,000円
年額	1,050,000円		800,000円	

#### その他費用(令和6年度参考)

区分	1年次	2年次	3年次
教科書	約84,000円	約42,000円	—
実習器材	約109,000円	—	—
B型肝炎ワクチン接種	約21,000円	—	—
諸経費	—	—	約50,000円
合計	約214,000円	約42,000円	約50,000円

### 奨学金

#### 日本大学歯学部佐藤奨学金(給付)

種別	年額	人数	対象
第1種奨学金	100,000円	4名	2・3年次

(人数は令和6年度の実績)

#### 日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校同窓会奨学金(給付)

種別	年額	人数	対象
同窓会奨学金	50,000円	2名	3年次

(人数は令和6年度の実績)

#### 日本学生支援機構奨学金

種別	月額	人数	対象
給付	第I区分, 第II区分, 第III区分	9名	1~3年次
第一種奨学金(無利息)	自宅通学者 53,000円	8名	
	自宅外通学者 60,000円		
第二種奨学金(有利息)	20,000円~120,000円から選択	6名	

※年3%を上限とする変動金利(金額、人数は令和6年度のもの)

## 年間行事予定

### 附属歯科技工専門学校



- 入学式
- 前期授業開始
- オリエンテーション

- 定期健康診断
- 球技大会

- 第1期総合型選抜エントリー受付  
6月16日(月)~8月4日(月)

- 夏季休業開始
- 夏季休業終了

- 前期授業終了
- 前期試験(全学年)

- 後期授業開始
- 学校推薦型選抜(付属高等学校等, 指定制, 公募制)
- 社会人選抜第1期

- 第2期総合型選抜エントリー受付  
11月4日(火)~12月4日(木)
- 一般選抜第1期
- 駿技祭

- 冬季休業開始

- 冬季休業終了
- 後期授業終了(第3学年)
- 後期試験(第3学年)

- 社会人選抜第2期
- 国家試験

- 後期授業終了(第1・2学年)
- 後期試験(第1・2学年)
- 卒業式
- 一般選抜第2期
- 社会人選抜第3期
- 国家試験合格発表

### 附属歯科衛生専門学校



- 入学式
- オリエンテーション
- 前期授業開始
- 校外オリエンテーション(第1学年)

- 定期健康診断
- 球技大会

- 歯みがき指導(幼稚園)
- 咀嚼学習指導(小学校)

- 総合型選抜エントリー受付  
7月1日(火)~7月22日(火)
- 夏季休業開始

- 夏季休業終了

- 前期授業終了
- 前期試験(全学年)
- 校外研修(第3学年)

- 後期授業開始
- 学校推薦型選抜(付属高等学校等, 指定制, 公募制)
- 社会人選抜第1期
- 咀嚼学習指導(小学校)

- 戴帽式
- 臨床実習開始
- 一般選抜第1期
- 翔衛祭

- 後期授業終了(第3学年)
- 総合型選抜エントリー受付  
12月8日(月)~18日16日(金)
- 冬季休業開始

- 冬季休業終了
- 後期試験(第3学年)

- 後期授業終了(第1・2学年)
- 後期試験(第1・2学年)

- 一般選抜第2期
- 社会人選抜第2期
- 国家試験
- 卒業式
- 国家試験合格発表

# 令和7年度 進学相談会日程

	開催日	開催時間	場所
第1回	令和7年 5月 18日 (日)	10:00～13:00 予約電話 03-3219-8007 附属歯科技工専門学校 予約制 (当日参加も歓迎) 附属歯科衛生専門学校 完全予約制	専門学校講堂
第2回	令和7年 6月 8日 (日)		
第3回	令和7年 7月 6日 (日)		
第4回	令和7年 8月 24日 (日)		
第5回	令和7年 11月 1日 (土) <span style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 2px;">駿技祭</span> <span style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px;">翔衛祭</span>		大会議室

※ 11月1日(土)については、個別相談と学校見学のみ実施

## 附属歯科技工専門学校 開催内容

### 個別相談 Zoomでも行っています。

専門学校専任教員による親切でいねいな個別進学相談を受けることができます。上記日程以外でも、事前予約により、個別進学相談を受けられます。

### 資料配布

総合型選抜のエントリーシート、過去3年の作文課題を配布しています。またシラバス(年間授業計画)や教科書などの閲覧ができます。

### 校内施設見学・体験実習(第1～4回)

講堂や実習室などの校内見学及び、体験実習を行っております。

## 附属歯科衛生専門学校 開催内容

### 個別相談

専門学校専任教員による親切でいねいな個別進学相談を受けることができます。

### 資料配布

総合型選抜のエントリーシート、授業計画・過去入試問題などの各種資料が閲覧できます。

### Zoomでの個別相談

遠方等の理由で学校に来られるのが、難しい場合はこちらも利用できます。(予約制となります。)

### 校内施設見学・体験実習(第1～4回)

体験実習…11:00～(1日1回)  
校内見学…随時行っております。

## 個別学校見学を実施しております

歯科技工専門学校 ▶ 月曜日～金曜日(祝日を除く) 14:30～20:00(21:00終了)  
土曜日 10:00～13:00(14:00終了)

歯科衛生専門学校 ▶ 月曜日～金曜日(祝日を除く) 14:00～17:00

ご希望の方は事前に電話予約をお願いします【専門学校事務局】03-3219-8007

## アクセスマップ



- JR 中央線・総武線
- 東京メトロ 丸の内線  
「御茶ノ水駅」下車 …… 徒歩2～5分
- 東京メトロ 千代田線  
「新御茶ノ水駅」下車 …… 徒歩2分
- 都営地下鉄 新宿線  
「小川町駅」下車 …… 徒歩7分

まことに恐れ入りますが、本学では敷地の事情から緊急車両及び搬入業者用の駐車場しかございませんので、あらかじめご了承ください。車で来校される方は近辺に有料駐車場がございますので、そちらをご利用ください。

〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13

【専門学校事務局】TEL:03-3219-8007 FAX:03-3219-8316

Mail:de.ts@nihon-u.ac.jp URL:https://www.dent.nihon-u.ac.jp/

詳しい入試情報はWEBへ

日本大学歯学部専門学校

検索